

校報 あずまね

文責：紫波町立紫波第三中学校 校長 角谷 隆章

2023年6月29日（木）

～伝え合い 響き合い 高め合う～

紫波町立紫波第三中学校 学校だより No.3

燃えた！地区中総体！！

去る6月14日（水）と15日（木）の2日間に渡り、紫波地区中学校総合体育大会が行われました。各会場では熱戦が繰り広げられ、本校の選手も練習の成果を発揮すべく、力の限り最後まで精一杯戦い抜きました。特に3年生はこの大会を最後に引退する人が数多くいます。私が、大会の様子を見たり、聞いたりして感じたことは、「勝っても、負けても、心に残る……」県大会への出場は叶わなかったものの、そんな大会になった部がとて多かったです。

3年生の運動部のみなさんにとっては、わずか、2年数か月の部活動ですが、得たことは数多くあるはずです。ぜひこの経験を今後の生活に生かしてほしいと切に願います。

県大会への出場権を得た部のみなさんは、今日から部活動延長が始まります。準備期間は半月と、非常に短いのですが、紫波町の代表としての自覚をもって、やれることをしっかりとやり、さらに上のレベルでの戦いに臨んでください。期待しています。

なお、結果の詳細については、メール配信にてお知らせしておりますので、ここでは県大会に出場する団体・個人のみを紹介します。

【県大会出場等】

卓球競技女子団体…優勝

個人…1位：菅原心倅さん

2位：清川佳恋さん

（宮古市で行われる県大会へ）

剣道競技女子団体…2位

（花巻市で行われる県大会へ）

また、6月25日（日）に行われた県通信陸上記録会において、男子中学共通110mHに出場した山崎 湊斗さんが第3位を獲得。来月盛岡で行われる東北大会にコマを進めました。



おめでとう
ございます！

【『親力』試してみますか？】

これは、親はもちろん、教師もその力や見方・考え方を試すことができる“テスト”です。一つやってみましょうか。理由を考え、一つ選択してください。

問い 子どもが深刻な顔で「このごろスポ少のコーチに怒られてばかり……。嫌われているかも」と打ち明けてくれました。あなたは、まず何と言いますか？

選択 ア あなたがしっかりやらないからでしょ。もっと頑張って練習しなさい。

イ それはつらいね。怒られるのは嫌だよ。

ウ だいじょうぶ、心配ないよ。頑張って練習すればほめてくれるよ。

ポイント：子どもにもいろいろな悩みがあります。親が子どもの悩みを共感的に聞いてあげると、子どもはたっぷりと話すことができます。そうすると、いいことがたくさんあります。まず、ため込んでいたものを吐き出すことで、子どもは心がスッキリします。時には、それだけで解決に向かうこともあります。そうでない場合も、子どもの本音をたっぷり聞くことで、何が本当の問題かがはっきりみえてきます。それによって、どういう対応をしたらいいか、どういうアドバイスをしたらいいかなどがわかってきます。本当の問題がはっきり見えないと、適切な対応やアドバイスができません。ほとんどの場合、子どもへのアドバイスや励ましは、たっぷり共感的に聞いてあげた後の方がいいでしょう。人は誰でも、共感的に聞いてくれて自分のことを受け入れてくれた人には大きな信頼感を持つものです。

出題は、^{おやのちから}親野智可等先生（本名：杉山桂一 1958年生まれ 超人気メールマガジン『親力で決まる子供の将来』は、教育関係で群を抜く4万人の読者を持つ。著作多数）。教師生活23年の現場経験で培ったノウハウをもとにあなたの親力を診断します。「教育のまぐまぐ」や「親力まぐまぐ」で検索すれば、みることができます。

子育てに関して、何かヒントを得たいときにのぞいてみてもいいのではないかと思い紹介しました。1学期は残すところ約1か月。皆、よい形で締めくりたいものですね。

解説

(×) ア 親にまで否定されては、子どもはますます悩むばかりです。

(◎) イ まずは、子どものつらい気持ちに共感してあげることが大切です。そうすれば、子どもはたくさん話すことができます。そして、それもたっぷり共感的に聞いてあげましょう。

(△) ウ 人が落ち込んでいる時、すぐに励ましたり、アドバイスをしたりすると、うまくいかないことがあります。相手は、「自分がどんなにつらいか、わかってもらえていないようだ」とか、「お説教された」と感じることもあるからです。励ましやアドバイスの前に、共感的に聞くことが大切です。